

給食がない夏休み中、十分に食事が取れない子どもを支援するため、NPO法人「フードバンク山梨」（米山けい子理事長）は30日、子どものいる生活困窮世帯に週1回食料を無償提供する「こども支援プロジェクト」をスタートした。

南アルプス市百々の白根B&G海洋センターで開かれたスタートイベントでは、高校生を含む約80人が食品の箱詰め作業に参加。家族構成など



## 困窮世帯へ食料箱詰め

### 南ア・NPO 支援スタート

を確認しながら米や缶詰、レトルト食品、粉ミルクなどを詰めて封をした。

白根高2年の秋山未来さんは「海外の出来事というイメージが強かった貧困問題が身近なことだと分かった」と感想。同2年の土橋裕太さんは「（支援を求めている人が）どんなものももらったらうれしいか想像しながら箱詰め作業に当たった」と話した。

発送は8月27日まで計5回を予定。これまでに218世帯分を発送した。

箱詰めボランティアや支援物資を募集している。米山理事長は「受け取った人に『みんなが応援しています』と感じてもらえる支援をしたい」と話している。問い合わせは同法人、電話055(2998)4844。〈橋田俊也〉

箱詰め作業をする高校生ら

＝南アルプス市百々

かじりネットワーク